

施設の短期中期のサービス向上への取り組み

1. 社会福祉法人として、利用者の満足を追求する
 - 1) 高齢者住宅
 - ・入居者が安心・安全に生活できるようコーディネーター会議を充実し、利用者の情報を共有する。
 - ・入居者自らが住みやすい住宅とするため、入居者懇談会を開催する。
 - 2) 訪問介護
 - ・今年度から開始される府中市日常生活支援総合事業へ取組むことも含め、部署内の情報共有、研修を行う。
 - 3) あさひ苑との連携
 - ・あさひ苑地域包括支援センター等と連携・情報共有し、入居者・利用者が地域で生活できるよう支援する。
2. 社会福祉法人として、家族支援・地域支援の拠点となる
 - 1) 訪問介護事業所が併設していることの強みを生かし、うらら多磨入居者がさらに安心安全に生活できるよう環境を整える。
 - 2) 府中地区の訪問介護事業所として、地域ニーズを把握し、生活支援を含む訪問サービスを拡充する。
 - 3) 地域交流スペースルームこもれびの活用を含め、地域交流活動を実施する。
3. 社会福祉法人として核となる職員の定着・安心の実現
 - 1) 人材育成システムのチャレンジプラン、OJTを通し職員育成を行う。
 - 2) 職員研修を実施し、スキルの向上を計る。
 - 3) 非常勤職員のワークプラン定着を目指す。
4. 社会福祉法人としての経営体制の確立
 - 1) 高齢者住宅
 - ・社会福祉法人が運営する高齢者運営する高齢者住宅として、制度のはざまにある高齢者の入居に向け、社会福祉協議会、地域包括支援センター等と連携を計る。
 - 2) 訪問介護
 - ・登録ヘルパー、常勤ヘルパーを効率よく稼働させる。
 - ・自費サービスを組込み、トータルな在宅支援、サービスにつなげる。

施設の取組

1. うらら多磨高齢者住宅、訪問介護が一体となり、利用者の介護予防や精神的な安心安全に努める。
2. 訪問介護事業の安定。
3. 防災、防犯リスクを把握し必要な対応策を行う。
4. サービス付き高齢者向け住宅の開所から5年が経過し、登録更新した次の5年間に向けて必要な修繕を行う。